

U-18 フットサルリーグ チャンピオンズカップ

〈報告書〉

開催 | 2018年1月6日（土）、1月7日（日）

会場 | 武田テバオーシャンアリーナ（愛知県）



第2回大会を終えて

新年早々の1月6～7日、武田テバオーシャンアリーナには全国各地から、U-18リーグの代表チームが集まりました。Fリーグや地域リーグのトップチームを持つクラブの下部組織、育成年代に特化したフットサルクラブ、学校のフットサル部、あるいはサッカー部の冬のトレーニングとしてフットサルに取り組む高校生…。「いつでも、どこでも、誰とでも」楽しめるフットサルですが、とりわけU-18年代のフットサルには多様なチームやプレーヤーがおり、大きな可能性を感じます。

昨年度の大会を機にU-18リーグの整備は徐々に進み、今大会は10リーグから12チームが参加して開かれました。連盟でも協会でもなく、民間のNPOが主催する大会ですが、「U-18年代のレベルアップ」と「日常的なリーグ環境の整備」という二つのねらいにブレはありません。主催者として改めて責任の重さを感じるとともに、大きなやりがいを感じています。

1次ラウンドからすばらしい試合が続きました。私はおもにメイン会場の試合を見ていたのですが、各チームの個性のぶつかりあいは見えていて楽しいものでした。そして決勝戦は、U-18フットサル史上に残る好ゲームだったと言えるでしょう。優勝したサントスFCU-18の高い個人技と“遊び心” いっぱいのフットサルは、見ているだけで楽しくなります（プレーヤーがもっとも楽しんでいました）。それに対するフウガドルすみだファルコンズも、個々の能力を最大限に引き出す戦術が有効で、いい意味での緊張感に満ちたゲームでした。後半、一瞬のすきを突いたサントスが4-1とリードを広げますが、そこからファルコンズはGKを含めた5人で攻撃を続けます。一つのミスが致命的となる緊張感の中で1点を返し、その後いくつもチャンスを作り、どちらが優勝してもおかしくないゲームでした。このレベルのゲームを、もっと多くの人に見てもらいたいと、強く感じました。

U-20代表監督の鈴木隆二氏が2日目に視察に来られ、この大会の意義を高く評価してくださいました。この年代の底上げが、日本のフットサルのレベルアップにつながります。それは、日常的なリーグ環境の整備と表裏一体です。各地のリーグ環境がよりよいものとなり、U-18リーグが全国各地にできていくことではじめて、この大会が「成功した」と言えるでしょう。そのときまで、totoの助成を受けながら、私たちのNPOはしっかりとこの大会を支え続けてまいります。

主管の愛知県フットサル連盟、後援の愛知県サッカー協会は、同時期に日本フットサル連盟の公式大会が開かれる中、全力で運営にあたってくださいました。また、そのような状況下で審判の手配が追いつかない状況がう生まれましたが、京都府や神奈川県からも派遣していただき、さらに出場チームのユース審判にも活躍してもらいました。自分たち自身で日常的なリーグ環境をつくりあげてきたからこそ、みなで協力し合って運営できたのだと思います。ご協賛各社をはじめ、本大会にご支援、ご尽力くださったすべての方々に感謝と御礼を申し上げます。

同時期に開かれていた全国高校サッカー選手権大会が始まったのは大正7（1918）年。今年が100周年です。U-18年代のフットサルは、ようやく競技会が整備されてきたものの、まだ始まったばかりです。

ここを起点に、各地でU-18年代のフットサル環境が整っていくことを願います。

その担い手となるのは、ここに集った一人ひとりです。

これからもよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人サロン2002
理事長 中塚 義実

大会要項

名称

第2回U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ

主催

特定非営利活動法人サロン2002

主管

愛知県フットサル連盟

後援

公益財団法人愛知県サッカー協会

協賛

加茂商事株式会社、株式会社ジャパン・スポーツ・プロモーション、京王観光株式会社、多摩大学

期日

2018年1月6日(土)、1月7日(日)

会場

武田テバオーシャンアリーナ（愛知県）

参加資格

1. 一般財団法人日本フットサル連盟に加盟承認された単独チームであること。
2. 第1項に所属する1999年4月2日以降に生まれた選手で男女を問わない。但し、高等学校在学中の選手にはこの年齢制限を適用しない。
3. 当該チームにおいて、2017年度のU-18フットサルリーグに出場している選手であること。

参加チーム

参加チームは、次の各号により選出された12チームとする。

1. 地域または都道府県のフットサル連盟が主催、主管または後援して開催される2017年度のU-18フットサルリーグの優勝チーム。
2. 出場チームが12チームに満たない場合は、以下の順で出場チーム枠を設定し、12チームでの開催とする。
 - ① 開催地のリーグ準優勝チーム
 - ② 当該年度のリーグ参加チーム数の多いリーグの準優勝チーム

大会形式

1. 1次ラウンド：12チームを4チームずつ3グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ1位チーム及び2位のうち成績上位1チームが2次ラウンドへ進出する。順位は、勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ① 当該チーム間の対戦成績
 - ② 当該チーム間の得失点差
 - ③ 当該チーム間の総得点数
 - ④ グループ内での総得失点差
 - ⑤ グループ内での総得点数
 - ⑥ 下記に基づく警告、退場のポイント合計がより少ないチーム

(ア)警告1回	1ポイント
(イ)警告2回による退場1回	3ポイント
(ウ)退場1回	3ポイント
(エ)警告1回に続く退場1回	4ポイント
 - ⑦ 抽選
2. 1次ラウンドの各グループ2位チームのうち、決勝トーナメントに進出する4チームは、以下の項目の順序で決定する。
 - ① グループ内での勝点合計
 - ② グループ内での得失点差
 - ③ グループ内での総得点数
 - ④ 抽選
3. 2次ラウンド：上位4チームによるノックアウト方式で行う。（3位決定戦は行わない）

競技規則

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

1. ピッチ
原則として、40m×20m
2. ボール
試合球：フットサル4号ボール
3. 競技者の数
競技者の数：5名
交代要員の数：9名
4. チーム役員
チーム役員：4名以内
5. 競技者の用具
 - ① ユニフォーム
 - (ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツまたはジャージ

ジー、パンツ、ストッキング）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。

- (イ) チームのユニフォームのうち、シャツまたはジャージの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- (ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツまたはジャージと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
- (エ) パワープレーを行うチームのフィールドプレーヤーのジャージまたはシャツは、自チームのゴールキーパーと同一の色、デザインとする。
- (オ) シャツまたはジャージには、参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- (カ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーのために用意される。
- (キ) ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は、当該チームにて負担することとする。
- (ク) ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- (ケ) その他のユニフォームに関する事項については、日本サッカー協会のユニフォーム規程（2016年4月1日施行）に則る。ただし、今回の規程で追加・変更となった内容のうち、一部は2019年3月31日まで旧規程による運用を許容する。
- ② 靴：フットサル用シューズのみ使用可能とする。ただし、本大会会場の利用規定により靴底の接地面が飴色、白色もしくは無色透明以外の色はノンマーキングシューズであっても使用できない場合がある。
- ③ ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを着用しなければならない。
6. 試合時間
1次ラウンド：24分間（前後半各12分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間（前半終了から後半開始まで）とする。
2次ラウンド：30分間（前後半各15分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは7分間（前半終了から後半開始まで）とする。
7. 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）
 - ① 1次ラウンド：引き分け
 - ② 2次ラウンド：PK方式により次回戦進出チームおよび優勝チームを決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

懲罰

1. 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
2. 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
3. 前項により出場停止処分を受けたとき、1次ラウンド終了時点で警告の累積が1回のとき、または本大会の終了のとき、警告の累積は消滅する。
4. その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

参加申込

1. 1チームあたり26名（役員6名、選手20名）を上限とし、選手は選出元のリーグに登録していること。
2. 申込み締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。

電子選手証

各チームの登録選手は、日本サッカー協会発行の電子選手証の写し（写真が登録されたもの：フットサル登録選手）、または選手証（写真が貼付されたもの：サッカー登録選手）を、代表者会議および試合会場に持参すること。電子選手証または選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。

表彰

優勝、準優勝のチームを表彰する。

その他

1. チームは、ユニフォームおよび電子選手証を代表者会議に持参する。
2. 参加チームと選手は日本サッカー協会の基本規程および付属する諸規程（ユニフォーム規程等）を順守しなければならない。
3. 大会規定に違反し、その他不正行為等があった場合は、そのチームの出場を停止する。
4. 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
5. 本実施要項に記載のない事項については、大会実行委員会にて決定する。

大会結果

1次ラウンド

2018年1月6日(土) 武田テバオーシャンアリーナ

Aグループ		A1	A2	A3	A4	勝点	得点	失点	得失点	順位
A1	名古屋オーシャンズU-18 (愛知県代表)		5 ○ 1	4 ○ 1	5 ○ 2	9	14	4	10	1
A2	アズヴェール藤沢U-18 (神奈川県代表)	1 ● 5		3 ● 6	4 △ 4	1	8	15	-7	4
A3	京都橘高校 (京都府代表)	1 ● 4	6 ○ 3		4 ○ 3	6	11	10	1	2
A4	不二越工業高等学校 (富山県代表)	2 ● 5	4 △ 4	3 ● 4		1	9	13	-4	3

Bグループ		B1	B2	B3	B4	勝点	得点	失点	得失点	順位
B1	SANTOS FC18 (愛知県代表)		2 △ 2	12 ○ 2	9 ○ 0	7	23	4	19	1
B2	フウガドールすみだファルコンズ (東京都代表)	2 △ 2		7 ○ 1	12 ○ 0	7	21	3	18	2
B3	神戸国際大学附属高校フットサル部 (兵庫県代表)	2 ● 12	1 ● 7		5 ○ 3	3	8	22	-14	3
B4	筑北SC WELLNESS (長野県代表)	0 ● 9	0 ● 12	3 ● 5		0	3	26	-23	4

Cグループ		C1	C2	C3	C4	勝点	得点	失点	得失点	順位
C1	HeroFC U18F (静岡県代表)		2 ○ 1	2 ○ 0	5 ○ 2	9	9	3	6	1
C2	FOOTBOZE FUTSAL U-18 (東京都代表)	1 ● 2		5 ○ 1	4 ○ 1	6	10	4	6	2
C3	アリアンサフットサルクラブ (大阪府代表)	0 ● 2	1 ● 5		3 △ 3	1	4	10	-6	4
C4	エンフレンテ熊本フットサルU-18 (熊本県代表)	2 ● 5	1 ● 4	3 △ 3		1	6	12	-6	3

2次ラウンド

2018年1月7日(日) 武田テバオーシャンアリーナ

グループ 1位 SANTOS FC18			
グループ 1位 HeroFC U18F	[19] 準決勝 1/7 (日) 13:40	7 2	
グループ 1位 名古屋オーシャンズ U-18			[21] 決勝 1/7 (日) 16:00
グループ 2位-1 フウガドールすみだファルコンズ	[20] 準決勝 1/7 (日) 13:40	0 6	



優勝：SANTOS FC18

得点ランキング

順位	選手名	所属	得点
1	ペレイラ チアゴ ヒデキ ミヤザキ	SANTOS	11
2	山口 勝輝	SANTOS	10
3	佐々木 拓海	フウガ	7
4	イチヤナギ ラファエル ジェファソン	SANTOS	6
4	新田 朋紀	不二越工業	6
4	畠山 勇気	フウガ	6
7	下田 康聖	名古屋オーシャンズ	5
8	横田 海斗	Hero	4
8	荒木 康作	SANTOS	4
8	山口 敬史	京都橘	4
8	川本 樹弥	名古屋オーシャンズ	4
12	甘利 斗亜	フウガ	3
12	元井 文宇	FOOTBOZE	3
12	竹内 達哉	フウガ	3
12	保田 大将	アズヴェール藤沢	3
16	安東 直生	FOOTBOZE	2
16	庵下 義樹	アリアンサ	2
16	稲本 結斗	SANTOS	2
16	垣谷 将太郎	京都橘	2
16	蒲 宙大	名古屋オーシャンズ	2
16	久保 成世	京都橘	2
16	高藤 大河	筑北	2
16	佐藤 雄介	フウガ	2
16	坂本 正哉	アズヴェール藤沢	2
16	山下 慶次	Hero	2
16	戎谷 亜周	アズヴェール藤沢	2
16	小林 晋明	FOOTBOZE	2
16	森本 翼	神戸国際大	2
16	大山 友雅	アリアンサ	2
16	藤橋 怜士	京都橘	2
16	美馬 亘輝	名古屋オーシャンズ	2
16	鈴木 翔太	フウガ	2
33	伊集 りゅう	SANTOS	1
33	伊藤 悠悟	フウガ	1
33	加藤 翔軌	名古屋オーシャンズ	1
33	吉川 竜平	神戸国際大	1
33	原 亮	フウガ	1
33	高橋 昂希	FOOTBOZE	1
33	今村 翔	エンフレンテ熊本	1



得点王：ペレイラ チアゴ ヒデキ ミヤザキ 選手

順位	選手名	所属	得点
33	坂田 修哉	エンフレンテ熊本	1
33	山本 健太	Hero	1
33	児玉 秀斗	アリアンサ	1
33	重盛 虎伯	アズヴェール藤沢	1
33	緒方 永遠	エンフレンテ熊本	1
33	松田 隼	FOOTBOZE	1
33	松友 竜樹	神戸国際大	1
33	森山 翔馬	エンフレンテ熊本	1
33	水池 颯	神戸国際大	1
33	杉山 朋哉	Hero	1
33	西村 響	Hero	1
33	船屋 力渡	不二越工業	1
33	糟谷 勇揮	神戸国際大	1
33	竹内 亜陽	筑北	1
33	中野 凜	Hero	1
33	長谷部 玖	フウガ	1
33	坪倉 亮	FOOTBOZE	1
33	田中 慶吾	京都橘	1
33	島田 聖太	神戸国際大	1
33	内山 奨太	神戸国際大	1
33	平井 大聖	不二越工業	1
33	茂呂 翔也	フウガ	1
33	木下 涼太	アリアンサ	1
33	廣野 杏嵐	不二越工業	1

チーム紹介

Aグループ

愛知県代表

名古屋オーシャンズ U-18



No.	Pos.	選手氏名	身長	体重
1	GK	浅井 凱斗	170	69
2	FP	加藤 翔軌	175	58
3	FP	丹羽 輝	172	58
4	FP	磯貝 洸瑛	163	50
5	FP	渡邊 克則	172	70
6	FP	仲井 大貴	165	58
7	FP	下田 康聖	168	60
8	FP	奥村 玲音	173	64
10	FP	川本 樹弥	178	62
13	FP	美馬 亘輝	165	53
14	FP	蒲 宙大	180	67
15	FP	森 大晟	168	55
17	FP	竹内 翔梧	170	54
18	FP	水野 公輔	156	35
20	FP	溝口 司	170	58
21	GK	安藤 拓真	173	75
22	FP	伊地知 大貴	171	65
24	FP	内藤 瑞己	177	71

役職	スタッフ氏名
監督	高橋 優介
コーチ	若山 伸太郎
コーチ	赤窄 孝
コーチ	磯貝 洸瑛
コーチ	竹内 翔梧
代表者	富田 晃司

Aグループ

神奈川県代表

アズヴェール藤沢 U-18



No.	Pos.	選手氏名	身長	体重
2	FP	平原 拓海	170	59
3	FP	広瀬 友矩	168	52
4	FP	坂本 正哉	166	68
6	FP	保田 大将	170	63
9	FP	山口 和真	177	70
10	FP	木村 健斗	180	60
11	FP	秋山 樹来	168	55
13	FP	丸山 侑介	172	57
16	FP	重盛 虎伯	170	55
17	FP	崎井 心	171	71
18	FP	戎谷 亜周	171	66
20	FP	伊藤 優大	175	70
21	GK	伊藤 湊太	174	58

役職	スタッフ氏名
監督	廣井 仁
コーチ	丹 兼一郎

Aグループ

京都府代表

京都橘高等学校



No.	Pos.	選手氏名	身長	体重
5	FP	山口 敬史	177	70
8	FP	田中 翼	165	60
12	GK	富田 空	176	72
14	FP	竹内 颯太	175	66
17	FP	稲田 千寛	171	66
19	FP	城戸 開登	183	71
30	FP	田中 慶吾	160	55
32	FP	垣谷 将太郎	160	54
39	FP	林 倅二郎	158	51
43	FP	藤橋 怜士	176	66
44	FP	久保 成世	163	55
49	FP	中藤 麗心	168	53
50	GK	松田 龍之介	174	66
51	FP	鈴木 惣一朗	176	67
56	FP	古川 瑞輝	171	61

役職	スタッフ氏名
監督	高林 幹
コーチ	米澤 一成
コーチ	篠原 弘樹
コーチ	飛奈 洸太
コーチ	福井 貴子

Aグループ

富山県代表

不二越工業高等学校



No.	Pos.	選手氏名	身長	体重
27	GK	穴戸 綾	183	73
32	FP	金森 翔吾	175	61
34	FP	青山 聖弥	166	56
36	FP	井上 舞生	174	60
37	FP	船屋 力渡	165	59
40	FP	廣野 杏嵐	172	58
41	FP	平井 大聖	175	61
45	FP	新田 朋紀	177	65
50	GK	大下 響	167	61
51	FP	明堂 大稀	174	60
52	FP	溝口 竣城	164	55
53	FP	高木 裕喜	175	60
60	FP	中田 来夢	169	62
68	FP	木村 竜貴	172	65

役職	スタッフ氏名
監督	上島 賢秀
コーチ	青木 大悟
コーチ	和田 高汰
部長	太田 賢次
マネージャー	西島 克己

Bグループ

愛知県代表

SANTOS FC 18



No.	Pos.	選手氏名	身長	体重
1	GK	小池 壇駒	171	75
3	FP	伊集 りゅう	178	65
6	FP	ボンテス レオナルド	165	55
7	FP	山口 優輝	165	55
8	FP	荒木 康作	175	60
9	FP	稲本 結斗	171	65
10	FP	イチヤナギラファエル ジェファソン	178	68
11	FP	山口 勝輝	170	60
13	FP	竹下 雅	170	60
14	FP	ベレイラ チアゴ ヒデキ ミヤザキ	170	60
15	FP	日比野 紘威	170	64
16	FP	太田 朱里	175	60
17	FP	フィタルーカス ヒロシ	171	65
30	GK	高松 謡	170	60

役職	スタッフ氏名
監督	山口 正春

Bグループ

東京都代表

フウガドルすみだファルコンズ



No.	Pos.	選手氏名	身長	体重
2	FP	原 亮	178	65
4	FP	竹内 達哉	164	53
6	FP	横田 大和	170	60
8	FP	甘利 斗亜	176	67
10	FP	鈴木 翔太	160	50
11	FP	船生 快人	180	70
12	GK	太田 圭	171	62
15	FP	伊藤 悠悟	168	56
21	GK	兼子 匠人	164	61
41	GK	茂呂 翔也	172	69
42	FP	畠山 勇氣	175	63
43	FP	佐藤 雄介	168	70
44	FP	長谷部 玖	172	61
45	GK	鈴木 雅史	165	55
46	FP	佐々木 拓海	175	68

役職	スタッフ氏名
監督	北隅 智宙
コーチ	原 陽司
コーチ	菊池 龍太郎
コーチ	富成 弘之
コーチ	荻窪 孝
コーチ	金川 武司

チーム紹介

Bグループ

兵庫県代表

神戸国際大学附属高校フットサル部



No.	Pos.	選手氏名	身長	体重
1	GK	今中 慈英	170	71
2	FP	吉川 竜平	173	63
3	FP	森本 翼	169	58
4	FP	南 飛翔	170	51
5	FP	花満 宗一郎	176	56
6	FP	入江 凜	166	58
8	FP	糟谷 勇揮	163	66
10	FP	内山 奨太	170	60
11	FP	多田 陸哉	167	60
13	FP	中田 大心	160	55
15	FP	杉山 龍平	173	72
16	FP	水池 颯	164	53
18	FP	待場 帝良	176	68
20	GK	松友 竜樹	172	75
21	GK	北村 朋也	171	60
23	FP	島田 聖太	164	50

役職	スタッフ氏名
監督	埴田 直文

Bグループ

長野県代表

筑北SC WELLNESS



No.	Pos.	選手氏名	身長	体重
1	GK	守屋 光	170	62
2	FP	三浦 颯	167	60
3	FP	高野 遥翔	144	32
4	FP	藤田 翼	145	33
5	FP	日向 簾	160	54
6	FP	植原 悠斗	173	54
7	FP	福田 佑樹	176	60
8	FP	高藤 大河	162	58
9	FP	原 悠太	170	62
10	FP	竹内 亜陽	173	55
11	FP	長谷川 雄大	178	70
12	GK	竹内 正樹	168	60
13	FP	三浦 新	165	90
14	FP	志村 岳	165	61
15	FP	大旗 琉希	150	36
16	FP	中村 英士	167	58
17	FP	降旗 陸	160	42

役職	スタッフ氏名
監督	中村 築
コーチ	土屋 好史

Cグループ

静岡県代表

HeroFC U18F



No.	Pos.	選手氏名	身長	体重
4	FP	新聞 透智	159	46
5	FP	杉山 朋哉	170	53
7	FP	亀山 航源	167	50
8	FP	原科 亮我	162	48
10	FP	山下 慶次	162	45
11	FP	尾崎 珠利	168	55
12	GK	篠崎 鉄太	165	55
13	FP	山本 健太	173	60
18	FP	長尾 圭人	180	60
19	FP	西村 響	175	58
28	FP	前原 一斗	170	70
39	FP	益田 知哉	170	59
70	FP	横田 海斗	172	53
74	FP	中野 凜	175	53

役職	スタッフ氏名
監督	八木 勝之
コーチ	吉村 隆太郎
コーチ	山本 充義
コーチ	原科 勇我

Cグループ

東京都代表

FOOTBOZE FUTSAL U-18



No.	Pos.	選手氏名	身長	体重
1	GK	長井 雄	172	64
2	FP	松田 隼	170	68
4	FP	大野 大	171	75
5	FP	安東 直生	166	58
8	FP	小林 晋明	160	50
10	FP	川岡 蓮	165	52
11	FP	高橋 昂希	175	64
12	FP	坪倉 亮	180	73
13	FP	樋口 海成	173	68
14	FP	岩間 健太郎	160	50
16	FP	飯田 大成	163	58
17	FP	林 誠晃	167	59
18	FP	元井 文宇	164	51
19	FP	太田 優	170	52

役職	スタッフ氏名
監督	豊田 幸夫
コーチ	河野 遼兵
コーチ	長井 正樹
GKコーチ	小坂 敏和

Cグループ

大阪府代表

アリアンサフットサルクラブ



No.	Pos.	選手氏名	身長	体重
8	FP	庵下 義樹	170	56
13	GK	中西 大志	172	56
15	FP	真崎 快生	170	55
16	FP	木下 涼太	179	60
18	FP	児玉 秀斗	160	48
22	FP	安部 昂樹	165	58
29	FP	大山 友雅	170	55
30	FP	岸 大輝	163	58
52	FP	今津 瑛策	171	62
55	FP	村島 豪	175	65
77	FP	上東 龍生	175	58

役職	スタッフ氏名
監督	竹仲 弘治
コーチ	浦岡 颯
コーチ	松左川 晴也

Cグループ

熊本県代表

エンフレンテ熊本フットサル U-18



No.	Pos.	選手氏名	身長	体重
5	FP	清原 勢太	169	62
9	FP	森山 翔馬	164	52
20	GK	安永 大成	168	60
21	GK	林 天斗	177	70
22	FP	坂田 修哉	171	55
25	FP	平山 琳斗	172	60
26	FP	松本 孝太	164	47
30	FP	堀川 武留	167	59
32	FP	石坂 岬己	176	56
42	FP	西村 一星	165	57
45	FP	石田 淳也	168	53
46	FP	西野 慶志	163	53
55	FP	藤本 毅	164	52
70	FP	緒方 永遠	163	58
77	FP	今村 翔	166	62
83	FP	本石 猛裕	175	70
88	FP	澤田 健太	176	62
91	FP	家入 祐大	179	63

役職	スタッフ氏名
監督	鶴田 文彦
コーチ	平野 涼太
コーチ	堀川 武留
コーチ	家入 祐大
コーチ	西村 一星
コーチ	緒方 永遠

リーグ紹介

東京都

● 1部リーグ・歴代優勝チーム

2009年度 FOOTBOZE FUTSAL U-18
2010年度 FOOTBOZE FUTSAL U-18
2011年度 府中アスレティックFC U-18
2012年度 FOOTBOZE FUTSAL U-18
2013年度 FOOTBOZE FUTSAL U-18
2014年度 FOOTBOZE FUTSAL U-18
2015年度 FOOTBOZE FUTSAL U-18
2016年度 FOOTBOZE FUTSAL U-18
2017年度 フウガドールすみだファルコンズ

● 主なリーグOB選手

清水 誠也 (フウガドールすみだ)
2010年度・2011年度・2012年度 FOOTBOZE FUTSAL U-18所属
清水 和也 (フウガドールすみだ/フットサル日本代表)
2012年度・2013年度 FOOTBOZE FUTSAL U-18所属
山田 正剛 (府中アスレティックFC/U-20フットサル日本代表)
2014年度 府中アスレティックFC U-18所属
岡部 直樹 (府中アスレティックFC/U-20フットサル日本代表)
2014年度・2015年度・2016年度 FOOTBOZE FUTSAL U-18所属

● 2017年度 東京都ユース (U-18) フットサルリーグ 1部 星取表

順位		フウガ	FOOT	ZOTT	府中	BUBB	自由ヶ	錦城高	東京成	勝点	得点	失点	得失差
1	フウガドールすみだファルコンズ		3○2 3○1	3○2 2●4	4△4 4○1	4○0 5○1	3○2 3○0	4○0 9○2	5○0 3○0	37	55	19	36
2	FOOTBOZE FUTSAL U-18	2●3 1●3		3○2 2○1	2○1 2○1	3○1 1●2	1○0 4○0	1○0 9○1	8○1 5○1	33	44	17	27
3	ZOTT WASEDA JUVENIL	2●3 4○2	2●3 1●2		3△3 4○2	1○0 3△3	4○0 9○2	7○2 8○4	4○3 9○2	29	61	31	30
4	府中アスレティックFC U-18	4△4 1●4	1●2 1●2	3△3 2●4		1△1 2○1	3○0 1○0	9○0 5○1	4△4 6○1	22	43	27	16
5	Futsal Club BUBBLE U-18	0●4 1●5	1●3 2○1	0●1 3△3	1△1 1●2		0●3 5○1	7○0 4○2	1○0 4○1	20	30	27	-3
6	自由ヶ丘学園高等学校	2●3 0●3	0●1 0●4	0●4 2●9	0●3 0●1	3○0 1●5		2△2 3○1	3△3 4○2	11	20	41	-21
7	錦城高等学校	0●4 2●9	0●1 1●9	2●7 4●8	0●9 1●5	0●7 2●4	2△2 1●3		3○1 4○0	7	22	69	-47
8	東京成徳大学高等学校 フットサル部	0●5 0●3	1●8 1●5	3●4 2●9	4△4 1●6	0●1 1●4	3△3 2●4	1●3 0●4		2	19	63	-44

● 2017年度 東京都ユース (U-18) フットサルリーグ 2部 星取表

順位		町田	LOCQ	中野	フウガ	SE A	順天	SE B	都市大	日本学	あずさ	勝点	得点	失点	得失差
1	ASVベスカドーラ町田 U-18		4○1 0●1	4○1 4○3	4○1 5○0	4○0 10○2	7○0	8○0	21○0	10○0	23○0	36	104	9	95
2	LOCOS EDOGAWA FUTSAL CLUB U-18	1●4 1○0		1●3 5○1	4○1 1△1	5○4 4○3	7○1	11○0	10○0	4○0	8○1	31	62	19	43
3	中野FC Soleil U18	1●4 3●4	3○1 1●5		1●3 2△2	8○4 3△3	6○2	4○0	9○0	3○2	4○3	23	48	33	15
4	フウガドールすみだウィングス	1●4 0●5	1●4 1△1	3○1 2△2		1●4 3○2	3○0	7○2	8○2	3○2	5△5	21	38	34	4
5	SEIRITZ A	0●4 2●10	4●5 3●4	4●8 3△3	4○1 2●3		9○3	9○2	4○1	10○6	3○2	19	57	52	5
6	順天高校	0●7	1●7	2●6	0●3	3●9		6○2 2△2	4○3 5△5	1●4 4○3	3○2 6○5	17	37	58	-21
7	SEIRITZ B	0●8	0●11	0●4	2●7	2●9	2●6 2△2		6○5 0●1	7○6 3○1	4○1 2●6	13	30	67	-37
8	東京都立大学付属高校	0●21	0●10	0●9	2●8	1●4	3●4 5△5	5●6 1○0		2●8 5○1	11○4 6△6	11	41	86	-45
9	日本学園アルバトロス	0●10	0●4	2●3	2●3	6●10	4○1 3●4	6○7 1●3	8○2 1●5		5○0 2●8	9	40	60	-20
10	あずさ第一高校	0●23	1●8	3●4	5△5	2●3	2●3 5●6	1●4 6○2	4●5 6△6	0●5 8○2		8	43	82	-39

神奈川県

比較的、歴史の古い神奈川県ユース (U-18) フットサルリーグは、2008年に8チームでスタートし、年々チーム数も増えて現在17チームの2部制で開催しております。他にもカップ戦や全日本ユース (U-18) の予選会など、ユース年代の環境が充実しております。また、神奈川県ユース (U-18) フットサルリーグ出身者の中には、現在Fリーグで活躍している選手も数名います。現在、神奈川県の中でも注目のカテゴリーだと思います。

● 大会概要

主催 (一社) 神奈川県サッカー協会
主管 (一社) 神奈川県サッカー協会フットサル部会
神奈川県フットサル連盟
期間 2017年6月～2018年1月
主な会場 平沼記念体育館・県立体育センター
他県内の体育施設及び県内高等学校
参加費 58,000円/1チーム

● 歴代優勝チーム

第1回 (2008年) アズヴェール藤沢
第2回 (2009年) 湘南工科大学附属高校
第3回 (2010年) 湘南工科大学附属高校
第4回 (2011年) PSTCロンドリーナ
第5回 (2012年) 武相高校
第6回 (2013年) エスタジオ横浜
第7回 (2014年) 武相高校
第8回 (2015年) 武相高校
第9回 (2016年) PSTCロンドリーナ
第10回 (2017年) アズヴェール藤沢

● 運営方法

まず、リーグの日程は運営委員会で各チームの予定 (学校行事やテスト期間など) を確認し考慮した形でたたき台が出来上がります。その後、微調整を行い、最終的に日程が決まります。よって、各チーム比較的参加しやすいリーグとなっています。
当日の運営は、各チーム持ち回りでMMの進行・第2審判・記録・タイマー・ボールパーソンを行います。第1試合目のチームが第3試合目の運営担当になるなど、試合に影響ない形で運営を割り振っています。
設営は会場にもよりますが基本的には第2試合目のチームが担当し、会場提供チームの場合はそのチームが対応することもあります。撤収は最終試合チームになります。
参加チームとしては非常に参加しやすく、選手の自主性も重んじているので良いリーグ運営になっていると思います。

● 第10回 神奈川県ユース (U-18) フットサルリーグ2017 1部 1次ラウンド 星取表

順位		アズヴ	鶴見大	ロンド	エスタ	武相	湘南工	パディ	J K F	勝点	得点	失点	得失差
1	アズヴェール藤沢 U-18		6○2	0●3	4○0	4○0	4○3	7○1	7○3	18	32	12	20
2	鶴見大学附属高校	2●6		4○1	9○4	5●6	5○3	5○3	7○0	15	37	23	14
3	PSTCロンドリーナ U-18	3○0	1●4		2△2	4○2	4○0	7●9	10○2	13	31	19	12
4	エスタジオ横浜 U-18	0●4	4●9	2△2		8○3	2●9	5○3	9○5	10	30	35	-5
5	武相高校	0●4	6○5	2●4	3●8		6○3	8○1	0●4	9	25	29	-4
6	湘南工科大学附属高校	3●4	3●5	0●4	9○2	3●6		3○2	3○2	9	24	25	-1
7	パディランツァーレ U-18	1●7	3●5	9○7	3●5	1●8	2●3		5○1	6	24	36	-12
8	J K F	3●7	0●7	2●10	5●9	4○0	2●3	1●5		3	17	41	-24

長野県

● 大会概要

名称 DUELO U-18フットサルリーグ
 主催 一般社団法人筑北スポーツ振興協会
 主管 DUELO U-18フットサルリーグ大会実行委員会
 後援 筑北スポーツクラブ
 学校法人タイケン学園
 学校法人タイケン国際学園
 協賛 DUELO
 期日 平成29年7月17日（土）～12月16日（土）
 会場 筑北村本城体育館

● 2017 DUELO フットサルリーグ 前期 星取表

順位		上田西A	上田西B	松本深	松本美	筑北ウェ	筑北U15	勝点	得点	失点	得失差
2	上田西高校 A		7 ○ 1	14 ○ 0	14 ○ 1	0 ● 11	16 ○ 0	12	51	13	38
4	上田西高校 B	1 ● 7		2 ● 5	10 ○ 5	4 ● 9	8 ○ 7	6	25	33	-8
3	松本深志高校	0 ● 14	5 ○ 2		7 ○ 4	0 ● 10	21 ○ 2	9	33	32	1
6	松本美須ヶ丘高校	1 ● 14	5 ● 10	4 ● 7		1 ● 23	7 ● 9	0	18	63	-45
1	筑北SC ウェルネス	11 ○ 0	9 ○ 4	10 ○ 0	23 ○ 1		50 ○ 0	15	103	5	98
5	筑北SC U-15	0 ● 16	7 ● 8	2 ● 21	9 ○ 7	0 ● 50		3	18	102	-84

● 2017 DUELO フットサルリーグ 後期 星取表

順位		上田西A	上田西B	松本深	松本美	筑北ウェ	筑北U15	勝点	得点	失点	得失差
3	上田西高校 A		8 ○ 1	6 △ 6	6 ○ 3	3 ● 4	7 ○ 1	10	30	15	15
4	上田西高校 B	1 ● 8		1 ● 7	9 ○ 6	8 ○ 5	4 ○ 3	9	23	29	-6
2	松本深志高校	6 △ 6	7 ○ 1		10 ○ 6	5 ● 6	14 ○ 1	10	42	20	22
5	松本美須ヶ丘高校	3 ● 6	6 ● 9	6 ● 10		3 ● 9	9 ○ 2	3	27	36	-9
1	筑北SC ウェルネス	4 ○ 3	5 ● 8	6 ○ 5	9 ○ 3		13 ○ 4	12	37	23	14
6	筑北SC U-15	1 ● 7	3 ● 4	1 ● 14	2 ● 9	4 ● 13		0	11	47	-36

富山県

富山県は積雪の影響で冬季にサッカーの試合や練習に制限がかかってしまいます。そこで、サッカーに必要な要素が多く詰まったフットサルを、リーグ戦という定期的な機会のもとでプレーすることによって、技術向上やチーム強化、フットサルの普及につなげたいという思いで開催しました。
 当初（2014年度）、利用できる体育館のある富山県西部地域の高校やクラブチーム、計5チームによりスタートしました。2017年現在では東部、西部の2リーグに分かれ、計12チーム（年度により参加チームの変動有り）で開催しています。各リーグの終了時に、上位、下位に分かれトーナメント戦を行い、富山県チャンピオンを決める試みも行っております。
 このリーグの特徴は、運営、審判を参加する高校生が、できるだけ「自分たちで行うこと」を前提にしている事です。会場の準備、片付けはもちろんのこと、試合の審判も高校生が行います。無資格者がレフェリングすることになりますが、「フットサル4級審判員資格」の取得を目指し、「フットサルユースレフェリー講座」を並行開催しております。フットサル審判インストラクターが指導し、講義形式だけでは得られない実際のレフェリング経験を積むことによって、より実践的な審判員の育成につなげています。このリーグでの審判経験をスタートに、フットサル2級審判員に若くして昇級する者も出てきました。
 リーグ戦出場者の中から、「U-18ユース選抜フットサルトーナメント」に向けた富山県選抜を編成し、より高いレベルでの経験を積んでもらうことも行っています。様々な取り組みの中で、富山県のフットボールレベルの向上につなげたいと考えています。

● 大会概要

主催 富山県U-18フットサルプレリーグ実行委員会
 （参加チームで構成）
 期間 11月23日～12月24日（2017年度）
 （1月8日に上位・下位トーナメント開催）
 主な会場 南砺市井波社会体育館、南砺市井波八乙女体育館、南砺市福野体育館、富山いずみ高校
 参加費 13,000円（会場費、ラインテープ代、ボール代など）※変動有り
 審判 参加チームから高校生が行う
 （「フットサルユースレフェリー講座」受講生を各チームから1名以上、F4級取得を目指す）

● 富山県U-18フットサルプレリーグ 呉東リーグ 星取表

順位		不二越工業	富山工業A	片山学園	富山いずみ	新川	勝点	得点	失点	得失差
1	不二越工業		12 ○ 1	8 ○ 1	14 ○ 0	23 ○ 2	12	57	4	53
4	富山工業A	1 ● 12		0 ● 4	2 ● 6	5 ○ 4	3	8	26	-18
2	片山学園	1 ● 8	4 ○ 0		7 △ 7	6 ○ 1	7	18	16	2
3	富山いずみ	0 ● 14	6 ○ 2	7 △ 7		8 ○ 5	7	21	28	-7
5	新川	2 ● 23	4 ● 5	1 ● 6	5 ● 8		0	12	42	-30

● 富山県U-18フットサルプレリーグ 呉西リーグ 星取表

順位		伏木	砺波工業	富山工業B	南砺福野	アレスグーテ	砺波	勝点	得点	失点	得失差
5	伏木		4 ● 6	9 ○ 6	1 ● 3	4 ● 9	4 ● 8	3	22	32	-10
3	砺波工業	6 ○ 4		4 ● 10	4 ● 6	4 ● 5	7 ○ 2	6	25	27	-2
6	富山工業B	6 ● 9	10 ○ 4		4 ● 9	4 ● 8	3 ● 5	3	27	35	-8
1	南砺福野	3 ○ 1	6 ○ 4	9 ○ 4		10 ○ 1	7 ○ 4	15	35	14	21
2	アレスグーテ砺波	9 ○ 4	5 ○ 4	8 ○ 4	1 ● 10		5 ○ 4	12	28	26	2
4	砺波	8 ○ 4	2 ● 7	5 ○ 3	4 ● 7	4 ● 5		6	23	26	-3

● 富山県U-18フットサルプレリーグ 優勝決定戦

不二越工業高等学校 7 - 4 南砺福野高等学校

リーグ紹介

静岡県

● 大会概要

大会名 第12回静岡県U-18フットサルリーグ
主催 一般財団法人静岡県サッカー協会
主管 一般財団法人静岡県サッカー協会フットサル委員会
静岡県フットサル連盟
期日 平成29年7月～12月

● 第12回静岡県U-18フットサルリーグ 1部 星取表

順位		Hero	アグレ	有度	CRAQ	SENA	東海大A	浜松日体	勝点	得点	失点	得失差
1	HeroFC U18F		6○1	11○1	3●5	13○1	3○0	9○2	15	45	10	35
3	アグレミーナ/エスパソンU-18	1●6		3○0	4○2	3○1	4○3	3○1	15	18	13	5
7	有度フットボールクラブ	1●11	0●3		1●13	1●8	1●5	2●6	0	6	46	-40
2	CRAQUES	5○3	2●4	13○1		8○3	8○1	6○1	15	42	13	29
6	SENAFC	1●13	1●3	8○1	3●8		2●3	2●8	3	17	36	-19
5	東海大翔洋高校フットサル部A	0●3	3●4	5○1	1●8	3○2		3●5	6	15	23	-8
4	浜松日体 U-18	2●9	1●3	6○2	1●6	8○2	5○3		9	23	25	-2

● 第12回静岡県U-18フットサルリーグ 2部 星取表

順位		磐田東	Free	伊東高	MARIO	東海大B	クラーク	PROV	勝点	得点	失点	得失差
4	磐田東高校フットサル部		4○2	7○0	3●4	2●3	14○1	5○3	12	35	13	22
1	Freedom Futsal	2●4		7○1	7○0	4○2	12○1	3○2	15	35	10	25
7	伊東高校城ヶ崎分校	0●7	1●7		2●5	1●9	3●6	1●18	0	8	52	-44
5	MARIO FUTSAL SCHOOL	4○3	0●7	5○2		1●6	6○2	2●3	9	18	23	-5
2	東海大翔洋高校フットサル部B	3○2	2●4	9○1	6○1		23○0	3●4	12	46	12	34
6	クラーク高校 浜松	1●14	1●12	6○3	2●6	0●23		3●9	3	13	67	-54
3	PROVA FUTSAL CLUB	3●5	2●3	18○1	3○2	4○3	9○3		12	39	17	22

愛知県

● 大会概要

名称 2017愛知県U-18フットサルリーグ
主催 公益財団法人愛知県サッカー協会
主管 愛知県フットサル連盟
協賛 (株) モルテン
大会期間 2017年09月30日(土)～
2018年03月21日(水)
参加チーム数 5チーム
大会方式 リーグ戦
試合方式 延長なし・PKなし
試合時間 前後半制 15分ハーフ (30分)

● 2017愛知県U-18フットサルリーグ

順位		勝点	試合数	勝利	引分	敗戦	得点	失点	得失差
1	サントスFC	20	8	6	2	0	79	17	62
2	名古屋オーシャンズU-18	17	8	5	2	1	69	15	54
3	名古屋オーシャンズU-16	12	8	4	0	4	43	26	17
4	Futsal Clube UNIAO	9	8	3	0	5	52	19	33
5	岡崎学園フットサル部	0	8	0	0	8	3	169	-166

京都府

今年初めて実施しました。
京都でのフットサルの普及・強化、若いフットサル審判員の育成などを志してリーグを開設しました。多くの人の支えがあり、無事初年度を終了しました。
来年度以降、さらなる発展を目指して歩み続けたいと思います。

● 大会概要

主催 京都府フットサル連盟
期間 2017年10月～11月
主な会場 立命館宇治中学校、西宇治公園体育館
参加費 10,000円
審判 帯同審判・基本的に生徒が行う

● 2017京都U-18フットサルリーグ

順位		Wizards	gatt2008	京都橘	久御山	東山	立命館宇治	勝点	得点	失点	得失差
3	Wizards		9○8	5×7	9○0	5○3	2×5	9	30	23	7
5	gatt2008	8×9		4×5	4○3	7○2	1×4	6	24	23	1
1	京都橘	7○5	5○4		8△8	12○2	6○4	13	38	23	15
4	久御山	0×9	3×4	8△8		3○2	5○4	7	19	27	-8
6	東山	3×5	2×7	2×12	2×3		2×5	0	11	32	-21
2	立命館宇治	5○2	4○1	4×6	4×5	5○2		9	22	16	6

大阪府

● 大会概要

期間 2017年7月16日（日）～2017年12月3日（日）

会場 大阪市立東淀川体育館
堺市立鴨谷体育館
堺市家原大池体育館
キンチョウスタジアム北練習室
府民共済SUPERアリーナ

● SuperSports XEBIO 大阪府フットサルリーグ2017 U-18

順位		シュラ	アリア	メッセ	アウエ	ザバス	東大阪	勝点	得点	失点	得失差
1	シュライカー大阪U-18		3 ○ 2	5 ○ 0	14 ○ 3	12 ○ 0	17 ○ 0	15	51	5	46
2	アリアンサ フットサルクラブ	2 ● 3		3 ○ 2	8 ○ 4	17 ○ 0	6 ○ 1	12	36	10	26
3	メッセ天下茶屋FC U-18	0 ● 5	2 ● 3		12 ○ 6	4 ○ 2	6 ○ 3	9	24	19	5
4	アウエルユース	3 ● 14	4 ● 8	6 ● 12		4 ● 6	13 ○ 3	3	30	43	-13
5	ザバススポーツクラブデルタ	0 ● 12	0 ● 17	2 ● 4	6 ○ 4		2 ● 3	3	10	40	-30
6	東大阪大学敬愛高等学校	0 ● 17	1 ● 6	3 ● 6	3 ● 13	3 ○ 2		3	10	44	-34

● SuperSports XEBIO 大阪府フットサルリーグ2017 U-18 上位

順位		メッセ天下茶屋	シュライカー大阪	アリアンサ	勝点	得点	失点	得失差
1	メッセ天下茶屋FC U-18		4 ○ 3	4 ○ 2	6	8	5	3
2	シュライカー大阪U-18	3 ● 4		4 ○ 1	3	7	5	2
3	アリアンサ フットサルクラブ	2 ● 4	1 ● 4		0	3	8	-5

● SuperSports XEBIO 大阪府フットサルリーグ2017 U-18 下位

順位		アウエル	ザバススポーツ	東大阪大学敬愛	勝点	得点	失点	得失差
1	アウエルユース		4 ● 5	10 ○ 2	3	14	7	7
2	ザバススポーツクラブデルタ	5 ○ 4		4 ● 5	3	9	9	0
3	東大阪大学敬愛高等学校	2 ● 10	5 ○ 4		3	7	14	-7

兵庫県

「年間を通してU-18世代の試合を組むことが出来ないだろうか？」

2012年8月、関西地域におけるU-18世代初の大規模フットサル大会となった「グリーンアリーナカップ ※第1回目はクラークカップとして開催」に参加した同じ志を持つチームのスタッフが中心となり、2013年から「U-18フットサルリーグWEST」という自主リーグを立ち上げました。

初年度は岡山県作陽高校も参加し、兵庫・大阪・京都・滋賀から参加する各チーム（クラブチーム・高校サッカー部・フットサル部・通信高校フットサルコース）で総当たりのリーグ戦を行い、選抜チームは関東遠征を行うなど、関西地域におけるこの世代の強化と環境整備に努めてまいりました。リーグに参加したメンバーからはデウソン神戸・シュライカー大阪・湘南ベルマーレなどでFリーグの選手になった者も多数輩出いたしました。また大学リーグや地域リーグで多くの選手が現在活躍しております。

結果として、このWESTリーグは3年間行いました。そして2016年からは兵庫・大阪独自でU-18リーグが始まったことにより（京都は2017年度より開催）、【発展的解消】として現在は休止状態となっています。→ 今後はカップ戦などで同一地域のチーム間交流を再開する予定です。

2016年度から始まったHYOGO U-18リーグですが、参加しているチームはすべて兵庫県3部リーグに当たる「ミドルリーグ」に所属しております。大学生や社会人相手に年間12試合ほど行っており、その合間を縫って9～12月の時期にU-18リーグを実施しております。

今年度はU-18選抜関西大会が1・7（日）という例年よりひと月ほど早い時期に開催されるということで、兵庫県選抜の練習日程を増やしたため、参加5チームの1巡のよる総当たり（1チーム4試合）という小規模な大会となりましたが、来年以降参加チームを今年度より1チームでも増やし、6チームによるリーグ戦（2巡が目標）するくらいの試合日程は組みたいと思っています。

まだまだ、U-18世代のフットサルチームの絶対数が少ない兵庫県。今後はフットサルの魅力・有効性などをどんどん発信し、リーグの活性化とさらなる強化を目指していきたいと考えております。

● 大会概要

名称 HYOGO U-18 フットサルプレリーグ 2017
主催 HYOGOU-18フットサルプレリーグ実行委員会
※兵庫県連盟は協力という形で参与
日程 2017年9月～12月
会場 アスコフットサルパークマヤ（屋内40×20M）
参加費 20,000円

● 歴代優勝チーム

2016年度 宝塚フットサルクラブ（5勝0敗1分け）
2017年度 神戸国際大学附属高校フットサル部
（4勝0敗）

● 兵庫県U-18フットサルリーグ

順位		宝塚	神戸国際A	クラーク	多田ハイ	神戸国際B	勝点	得点	失点	得失差
3	宝塚フットサルクラブ		2 ● 7	3 ● 4	10 ○ 0	15 ○ 4	6	30	15	15
1	神戸国際A	7 ○ 2		8 ○ 1	9 ○ 0	20 ○ 1	12	44	4	40
2	クラーク記念国際高校	4 ○ 3	1 ● 8		20 ○ 2	4 ○ 3	9	29	16	13
5	多田ハイグリーンU-18	0 ● 10	0 ● 9	2 ● 20		3 ● 6	0	5	45	-40
4	神戸国際B	4 ● 15	1 ● 20	3 ● 4	6 ○ 3		3	14	42	-28

リーグ紹介

熊本県

熊本県で高校生フットサルリーグが開設されたのは、2011年です。当時はまだ参加チーム数も少なく、フットサルを競技志向で行っているチームもあまりありませんでした。それから少しずつフットサルチームや高校のフットサル部、同好会が増え始め毎年10チーム程が参加するリーグ戦になりました。

今年度のリーグ戦は5団体、10チームが参加しています。今大会からサッカーでも強豪校の秀岳館高校が参戦し、リーグのレベルも上がってきていると思います。ここからの課題はリーグの認知度を上げていき、参加団体数を増やしていくことだと思います。

また、せっかく始めたフットサルを高校生年代でやめてしまうのはもったいなく感じます。この熊本県高校生フットサルリーグでプレーした選手が県リーグや九州リーグ、ゆくゆくはFリーグの舞台で活躍することを楽しみにしています。

●大会概要

主催 (一社) 熊本県サッカー協会 フットサル委員会
期間 2017年7月～2018年3月
主な会場 EFKフットサルフィールド
参加費 40,000円/1チーム
審判 帯同で生徒が行う。時々県リーグの2、3級審判員が行うことや、審判指導にあたる場合もある。

●歴代優勝チーム

第1回 (2011年) エンフレンテ熊本
第2回 (2012年) エンフレンテ熊本
第3回 (2011年) カベッサ熊本
第4回 (2014年) アマード熊本エンペラー
第5回 (2015年) エンフレンテ熊本
第6回 (2016年) エンフレンテ熊本
第7回 (2017年) エンフレンテ熊本 (前期優勝、1月から後期リーグスタート)

●熊本県U-18フットサルリーグ

順位		勝点	試合数	勝利	引分	敗戦	得点	失点	得失差
1	エンフレンテ熊本 E	25	9	8	1	0	45	10	35
2	秀岳館高校 B	22	9	7	1	1	53	38	15
3	秀岳館高校 A	20	9	6	2	1	63	28	35
4	国府高校フットサル A	13	9	4	1	4	24	30	-6
5	エンフレンテ熊本 F	12	9	3	3	3	27	25	2
6	秀岳館高校 C	12	9	3	3	3	32	31	1
7	エンフレンテ熊本 K	10	9	3	1	5	24	25	-1
8	アルバランシア	7	9	2	1	6	44	62	-18
9	熊本高専八代フットサル部	4	9	1	1	7	20	59	-39
10	国府高校フットサル B	3	9	1	0	8	25	49	-24

出場チームアンケート

●開催の希望時期について

- ・今回同様 (1月初旬) を希望する 5チーム
- ・3月 (春休み期間) を希望する 2チーム

●自由回答

- ・都道府県の通年リーグの発展こそがその競技の発展。通年リーグのチャンピオンが集い競い合うこの大会が最も重要な大会と感じています。
- ・昨年に続きなんとか2年連続出場し、連覇はなりませんでした。前回優勝チームとしてベスト4まで勝ち残れたことは、選手に感謝しています。HeroFCらしい戦いをし、最後の1秒まで走りきれたこととあきらめずに戦えたことは今後の選手の次への新しい目標に繋がっていくと感じました。サロン2002の皆様方、愛知県サッカー協会フットサル委員会、審判の皆様方、ボールパーソンをしてくれた愛知県U-18リーグの選手達のおかげで最高な舞台で緊張感ある試合の中で選手が楽しむプレーができたことを誇りに思います。しいて言えば最後にフウガさんと試合が出来たらもっと良かったと思いました。また1からチームを作り、鍛え直してきます。
余談ですが、準決勝後の決勝までの空き時間などで、敗退したチームの中からの選抜チームでエキシビジョンマッチ的なことができれば、全チーム決勝戦まで残る可能性があるかなと思いました。
- ・全国大会なので必要ないかもしれませんが、予選リーグ敗退チーム同士の交流試合があると良いかなと思います。自チームは、前日に名古屋オーシャンズU-16と練習試合ができたので、せっかくの機会なのでいろんなチームとの試合もできたらと思います。今回は出場できて良い経験ができました。ありがとうございました。
- ・全国のフットサルリーグに所属チームと試合ができる貴重な大会だと感じます、今後もぜひ継続、発展して欲しいと思います。

誰もが世界一になれるわけでもない
誰もが日本代表になれるわけでもない
それでも人はスポーツをする
昨日の自分に追い越されないために
明日の自分を追い越すために
スポーツに鍛えられた人生は
勝っても負けても きっと負けない

スポーツは、自分を超越するためにある。

スポーツくじ



スポーツくじ (toto・BIG) の収益は、日本のスポーツを
育てるために使われています。